

2024年7月12日

報道関係者各位

日本相撲協会と協定を締結 本場所で本学救急救命士が土俵際に待機 7月名古屋場所では平日2人休日1人体制

学校法人国士舘（理事長・大澤英雄＝東京都世田谷区）はこのほど、公益財団法人日本相撲協会と救護救急医療体制の構築に関する協定書を締結しました。

この協定は、大相撲本場所中、その開催場所に救急救命士を常時待機させることにより救護救急体制を拡充し、力士などの安全・安心を向上させるための枠組みを定めたもので、同協会が、力士の頭頸部外傷に対する対策強化の一環として導入しました。

大相撲は序ノ口から幕内まで約150組の取組が15日間にわたり行われます。激しい衝突による脳しんとうや頸椎損傷などの発生リスクが懸念されるため、場所中は事前に同協会スタッフと搬送訓練を実施し、常駐する医師などにスムーズに繋ぐ体制を整えています。

今年3月の大阪場所、5月の東京場所では、救急救命士の資格をもつ本学教職員、大学院生、卒業生が土俵際に待機し、負傷した力士などの手当てに当たりました。7月の名古屋場所は平日2人、土日1人体制で実施予定です。今年は、残る9月の東京場所、11月の福岡場所に本学救急救命士を配置するよう進めています。

◆本プレスリリースに関するお問い合わせ

学校法人国士舘 理事長室広報課（担当：清水） 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1
TEL:03-5481-3115 FAX:03-5481-5477 E-mail:kouhou@kokushikan.ac.jp